

ソリューション概要

Evergreen//One であらゆるニーズに対応

部門を問わず、オンプレミスまたはハイブリッド・クラウドのストレージをサービスとして利用する「クラウド・エコノミクス」のメリットが得られます。

データ・ストレージは、事業運営において重要な役割を担う戦略的要素です。業種や部門を問わず、ビジネス上の意思決定を行うためには、所有するデータへの迅速なアクセスが重要です。しかし、従来型のストレージ・データ・インフラは、その複雑さゆえに、可用性やリスク/リソース管理においてさまざまな問題を引き起こしています。また、「アズ・ア・サービス」の消費モデルとは相容れず、俊敏性や柔軟性に欠けています。さらに、多くのソリューションには、事業変革に欠かせない先進的なデータ活用をサポートするほどの革新性がありません。

Evergreen//One は、このような問題を解決するソリューションを提供します。

Evergreen//One は、柔軟性の高い従量制のストレージ・アズ・ア・サービス (STaaS) であり、お客様のエンタープライズ・ストレージ環境を刷新する高効率なストレージ・サブスクリプション・サービスです。ブロック、ファイル、オブジェクトのストレージ・サービスをサポートしており、オンプレミス、コロケーション施設、パブリック・クラウドへのデプロイメントが可能です。

ピュア・ストレージの製品は全て、SLA に基づき、柔軟でスケラブルな、持続可能性と ESG に配慮したクラウドライクなサブスクリプションでの利用が可能です。Evergreen//One は、これら全てを統合し、お客様のデータ・ストレージをいつまでもシンプルなものにします。

ニーズの多様性と変化に対応

データの増加と進化に伴い、データの保護や管理、保存の方法も進化しなければなりません。データからの価値創出という目標は同じでも、具体的な要件はそれぞれの役割や部門によって異なります。

アプリケーション・アーキテクト

アプリケーション・アーキテクトは、可能な限り万全に近いソリューションの設計と実装をめざします。将来のストレージのニーズを念頭に現在のインフラを見ると、多くのケースで依然としてオンプレミスのデータセンターがプラットフォームとなっているのが実情です。データセンターにおいて将来必要となる容量、拡張性、弾力性、柔軟性の実現方法を模索するなかで、オンプレミスのインフラをよりクラウドに近づけるというアプローチが注目されるようになりました。



ビジネス成果の達成を支援

Evergreen//One は、デジタル・トランスフォーメーションを促進させるストレージ基盤の構築を支援します。



費用は使用した分だけ

予約コミットメントを設定した場合には、コミットした使用量を超えた分だけが請求されます。



Pure1 のパワーを活用

Pure1 のデータ管理機能が、ハイブリッド・クラウド上の仮想化環境の監視、分析、シミュレーション、管理を可能にします。

今日では、多くの組織が、ハイブリッド・クラウド戦略の導入によって、従来型ストレージの高コストに対処し、時間を節約し、IT 部門の作業負荷とスキル・ギャップを軽減しようとしています。そのために、アプリケーション・アーキテクトは、ハイパースケーラのシンプルさとコスト効率、リファレンス・アーキテクチャの柔軟性と拡張性、ティア 1 のエンタープライズ性能と耐障害性を兼ね備えた単一のソリューションを求めています。クラウドで構築してオンプレミスにデプロイする能力は、業界ではまだそれほど喧伝されてはいませんが、これこそが Evergreen//One の提供する能力です。充実した API とクラウド・ネイティブなアーキテクチャにより、クラウドでの構築とローカルでのデプロイが可能になり、開発が行われる場所にかかわらず、ユーザーにとって最適な場所にプロジェクトを届けることができます。

ストレージ管理者

ピュア・ストレージ以外の製品による一般的なデータ・ストレージの構成では、デプロイメントと設定に約半年、ストレージ・アレイへのデータ移行にさらに 1 年半を要します。2 年間ほど使用すると新しいシステムが必要になり、12 か月をかけてアレイからのデータ移行を実施し、新しいハードウェアとソフトウェアで前述のプロセスを再度行うことになります。この 3 年から 5 年の間に、ハードウェアの老朽化、性能の低下、計画的なダウンタイムによるサービス停止が発生します。IT 部門は、データの移行や保護、性能、信頼性、容量の確保など、ストレージの運用管理の煩雑な業務に追われることになります。

これらはストレージ管理者が直面する課題であり、ストレージ管理のタスクに多くの時間が費やされ、重要な戦略のための時間が犠牲になる原因となっています。データの運用が戦略的であっても、ストレージ・プラットフォームの管理が頭痛の種となっています。Evergreen//One は、日々のストレージ運用管理の複雑さを軽減し、IT 部門がより高度なデータ・プロジェクトに集中できるよう支援します。

CIO と CFO

IT 予算が制約されるなか、情報の最高責任者である CIO と、財務の最高責任者である CFO は、ストレージ、スタッフ、運用リスク、その他のビジネス上の問題にどのように対処するのが最善かを見極め、よりよい成果を導き出さなければなりません。CIO は、データの急速な拡大、IT 担当者の作業負荷の増大、予測不可能なテクノロジーのニーズに対していかに対応するかという課題を抱えています。いっぽう CFO は、予算の縮小、運用リスクの増大、デジタル変革への新たな投資の必要性に直面しています。

ストレージの選択肢が数多く存在するなか、ビジネスの真のニーズを満たすソリューションを選択することが重要です。CAPEX の支出と負債は通常、時間の経過とともに変化し、データの突発的な増加や繁忙期への対応のためのストレージの増強などの要因により増大します。今日購入した最新鋭の機器は、2 年後にはもはや最新鋭ではなくなっています。

さらに、従来型 CAPEX モデルでは、上記以外にもさまざまな問題や機会損失が発生します。いっぽう、Evergreen//One では、クラウドの持つ俊敏性と財務面の柔軟性によって、データのニーズの変化に対応できるだけでなく、クラウドのコストを最適化する FinOps により、データ駆動型の支出決定におけるステークホルダーの連携が促進されます。

アプリケーション・チームと DevOps チーム

ストレージは、アプリケーションや DevOps のチームからはボトルネックとみなされることがあります。また、複雑すぎて、イノベーションにはほど遠い存在であると考えられています。Evergreen//One は、従来型のデータ・ストレージインフラによる障壁を取り除き、最新のアプリケーションやコンテナへの対応を可能にし、データ・ストレージ全体において高速かつ柔軟で革新的なクラウド体験を提供することで、お客様におけるイノベーションを迅速化します。



Evergreen//One

Evergreen//One は、柔軟性に優れたエンタープライズ・グレードのストレージ・サブスクリプション・サービスです。業界最先端で実証済みの FlashArray™、FlashBlade®、Pure Cloud Block Store™ テクノロジーと、対応する検証済みの設計統合、FlashStack®、AIRI®（AI のためのインフラ）によって実現されています。ピュア・ストレージの Evergreen™ ソリューションにより、無停止でのアップグレードと拡張がもたらす弾力性と拡張性が得られます。さらに、イノベーション、生産性、効率的な運用を促進する AIOps と FinOps を導入できます。

提供内容

Evergreen//One は、契約期間中、割引料金で利用できる予約コミットメントを用意しています。予約コミットメント分を超過した場合は、標準料金のオンデマンド利用に移行します。オンデマンド利用においては、ストレージの購入量が多すぎるリスク（オーバー・プロビジョニング）や、または少なすぎるリスク（アンダー・プロビジョニング、再購入、リース期間の延長や繰り返し）を回避できます。また、複数年にわたるサイジング、繁忙期のワークロード、突発的な増加などの予測不可能な状況に備えることができます。ストレージのニーズが増加がみられる場合は、ピュア・ストレージがプロアクティブにインフラと容量をスケールアップします。

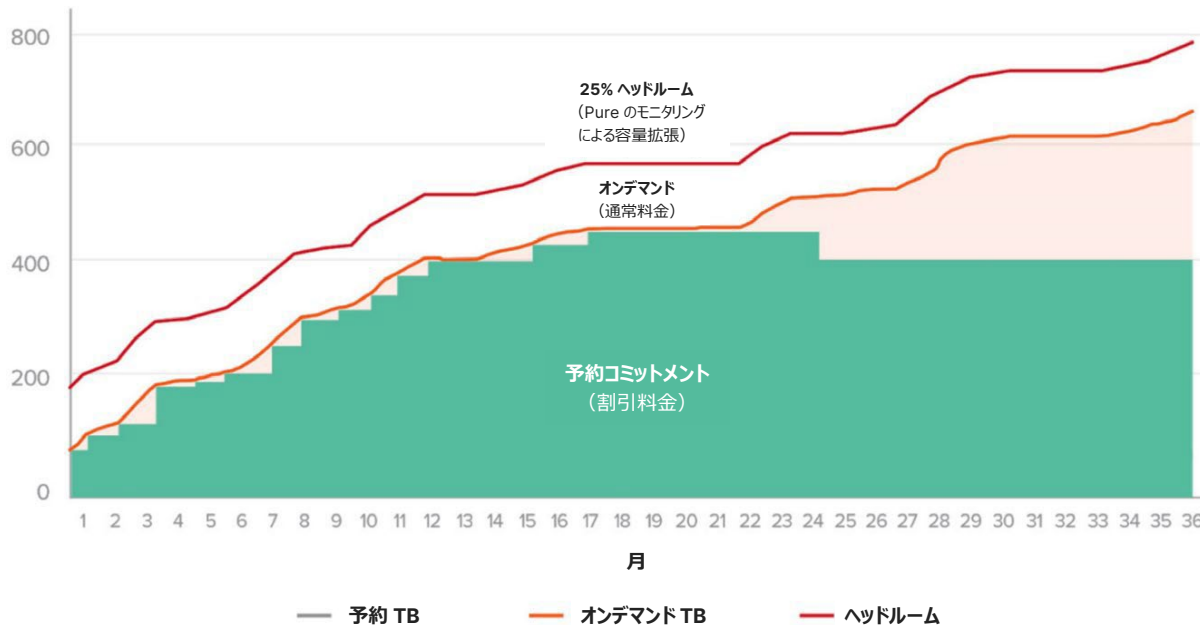


図 1：サブスクリプション管理 — 容量、コントローラ、ソフトウェアは SLA に基づいてアップグレード

ピュア・ストレージは、アプリケーション・アウェアなクラウドベースのストレージ管理プラットフォーム Pure1 で使用状況を監視しています。Pure1 は、使用量が割り当て量の 80% を超えた場合に自動的に容量を追加します。また、Evergreen//One は、実際の使用量の 25%（最大 100 TiB）のヘッドルームを維持し、利用可能な容量を常に柔軟に確保するため、ストレージが逼迫することはありません。ヘッドルームは追加料金なしで維持されます。

ハイブリッド・クラウドへの入口

今日では、ほとんどの組織がクラウド化やデジタル・トランスフォーメーションに取り組んでいます。Evergreen//One は、クラウド化への第一歩であると同時に、ミッション・クリティカルなアプリケーションのためのパブリック・クラウドに代わる現実的な選択肢となります。Evergreen//One は、Pure Cloud Block Store を介して、オンプレミスのデータセンター、コロケーション/ホステッド環境および、パブリック・クラウドにおいて、単一の統合サブスクリプションによる一貫したハイブリッド・クラウド体験を提供します。Pure Cloud Block Store は、パブリック・クラウドのリソース上で動作する完全機能の仮想化 FlashArray SAN を生成するソフトウェアです。

オンプレミス・ブロック・サービスをサブスクライブすることで、オンプレミスとクラウド環境間でのデータ・モビリティを可能にする Pure Cloud Block Store のキーが提供され、クラウド・ジャーニーをどこから始めるかにかかわらず、データの全てまたは一部のシームレスな移動が可能になります。また、Pure Cloud Block Store とパブリック・クラウドのインスタンスを設定することで、Pure1 管理ツール、オーケストレーション、AI を活用した予測型サポート、VM 分析などを含むストレージ管理ツール一式によるフリート管理が可能になります。



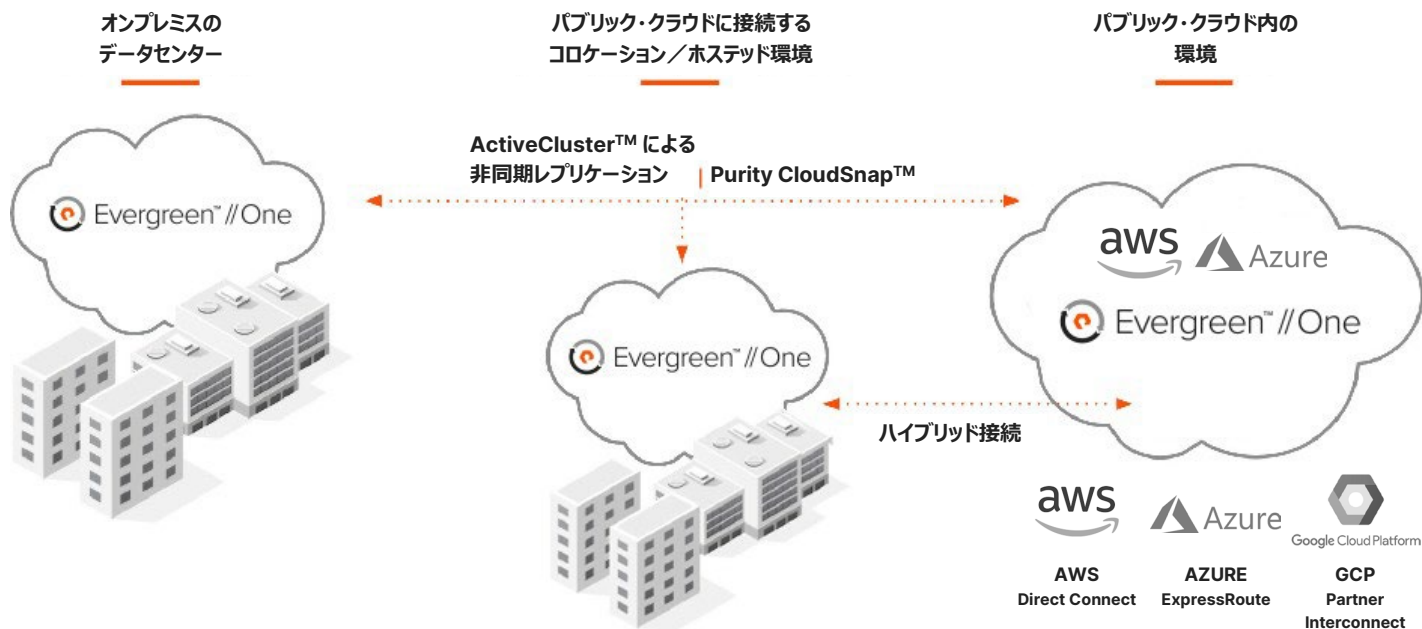


図 2 : 柔軟なハイブリッドクラウド

マルチクラウド構築方法の一例としては、まずオンプレミスで Evergreen//One を導入し、パブリック・クラウドにコロケーション／ハウジング型の Evergreen//One、または Evergreen//One with Pure Cloud Block Store を追加します。その後、Purity ActiveCluster や拠点間の非同期ミラーリングを追加し、パブリック・クラウド上のコンピュートに同拠点の Evergreen//One ストレージ・サービスを接続します。これでマルチクラウドが構築できます。

Pure1 のパワーを活用

Evergreen//One のサブスクリプションに含まれる Pure1 は、ストレージ管理のための AI 駆動型データ・サービス・プラットフォームです。AI エンジンである Pure1 Meta により、アプリケーションやインフラのニーズの正確な予測および、継続的な監視と問題に対するプロアクティブな対応が可能になります。Evergreen//One サブスクリプションの契約、監視、延長も全て Pure1 で一元管理できます。Pure1 には次のような特長があります。

- **予測的インテリジェンス**：新しいアプリケーション、現行のワークロード、ハードウェアのアップグレードのモデル化を行います。
- **フルスタック分析**：インフラ全体の容量と性能を仮想マシンに至るまでエンドツーエンドで把握し、問題解決までの平均時間を短縮します。
- **グローバルなエンドツーエンドの可視性**：AIOps プラットフォームが単一のダッシュボードでインフラ全体を視覚化します。あらゆるデバイスでストレージ・インフラを容易に監視、分析、最適化できます。

関連リソース

- Evergreen//One に関する [Web ページ](#)
- IDC Technology Spotlight「[Digital Infrastructure Resiliency Drives Interest in New As-a-Service Cloud Operating Models](#)」
(デジタル・インフラのレジリエンシーが新たなアズ・ア・サービスのクラウド運用モデルを推進)

ピュア・ストレージ・ジャパン株式会社
お問い合わせ：03-4563-7443 (代表)
<https://www.purestorage.com/jp/contact.html>

